

応用

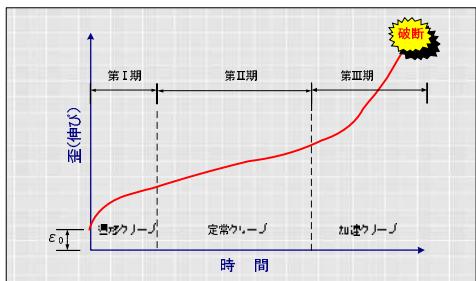
余寿命診断技術研修

【受講レベルの目安】

- ・ボイラ・タービン設備メンテナンス業務の従事経験者（1年以上）
- ・余寿命診断を基礎から学習したいとお考えの方

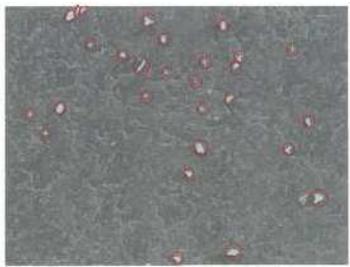
発電用ボイラ・タービンの余寿命診断手法について学習できます。

- ・ボイラ・タービンなどの高温機器における経年劣化のメカニズムをわかりやすく説明します。
- ・プラントに適用される、さまざまな余寿命診断手法の特徴を理解するのに最適です。
- ・設備に合った余寿命診断手法の選定から評価およびその後の対策について理解できます。



経年劣化メカニズムを理解

+

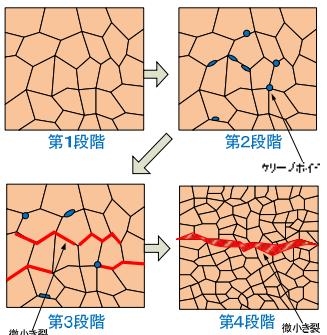


余寿命診断の手法を学習
(クリープポイド発生状況と寿命評価)

+



実習
(レプリカフィルム採取)



現地工事例の紹介



顕微鏡による組織観察

カリキュラム

★金属・材料の基礎などは要点を絞った内容に再編し、午後開始の研修へリニューアル(2025年度)

日程	カリキュラム	内 容
1日目	AM	—
	PM	余寿命診断の必要性 法の指針、技術基準、定期自主検査の延長について学習
	PM	金属組織・材料の基礎 金属組織の観察、経年劣化に関連する組織構造について学習
	PM	経年劣化メカニズム クリープ、脆化等の劣化要因と損傷形態について、損傷事例を交えて学習
2日目	AM	余寿命診断技術 各余寿命診断の手法と特徴、評価方法等について学習
	AM	余寿命診断の診断事例 現地工事、組織観察、寿命評価、報告書まとめ等について、事例を交えて学習
	PM	実習 【レプリカ採取・観察・評価】 研磨、エッティング等の前処理、レプリカの採取、光学顕微鏡による観察、評価方法を学習
	—	—